

# 平成 27 年度 第 7 回 理事会議事録

日時：平成 27 年 11 月 24 日（火）19：00～20：15

場 所：県士会事務所

出席：（理事）小林伸、磯野、高村、有泉、藤田、北山、  
青柳、古屋、笠井、井村  
（部長）鈴木、加納、中込

欠席：（副部長）松下

書記：伊東・木村

## 会員管理情報

慶事 2 件 弔事 0 件 施設数 126 会員数 806 名

### I. 審議事項（全 3 題）

1. 平成 28 年度日本理学療法士協会主催の P T 講習会  
応用編開催について

（北山学術局長）

承認 来年度も継続事業として開催する。協会からの  
助成金については今後増額を検討してもらえ  
るように進めていく。

2. 生涯学習局の設立について

（北山学術局長）

承認 学術局の業務負担が増大しているため生涯学  
習部を局として新設する案を総会へ上げる。

3. 災害対策準備委員会の三士会合同研修会について

（藤田事務管理局长）

承認 三士会合同の研修会が来年 3 月 18 日に開催予  
定となっており、予算の都合から参加者 1 人  
につき資料代 500 円を徴収する。

### II. 報告事項

1. 訪問理学療法委員会：第 6 回山梨県訪問リハビリ  
テーション実務者研修会開催報告

（藤田事務管理局长）

10 月 17 日、18 日に大木記念ホールにて開催した。  
収支報告はこれからするが黒字収支となった。43 名  
の参加者があった。

2. 地域支援事業等推進委員会：活動報告

（磯野副会長、笠井福祉厚生局長）

リハビリテーション専門職団体協議会として県へ  
あいさつに出向き好意的に受け止めていただいた。  
11 月 29 日に協会主催の研修会へ磯野、三科が出席  
予定。その内容を受けて今後の研修会を検討してい  
く（磯野副会長）。県の長寿社会課の新規事業として  
リハビリテーション職活用の手引書作成委員会へ  
参加している。現在までに 2 回の会議があり、今後  
ある程度の土台ができ次第理事会に上げ検討いた  
だく（笠井福祉厚生局長）。

3. 委託事業部：いきいき山梨ねんりんピック 2015 へ

の出展について

（古屋社会局長）

去年を上回る来場者数（273 名）であった。三士会の  
協議会としてグッズを作成した。昨年同様 3 テント  
（各士会から 1 テント）を設置したが、来場者が増え  
たことで来年度は 4 テントを設置する必要と思われる。  
来年度は協議会として 1 テント追加することで  
検討していく。

4. 委託事業部：介護職場人材育成研修の講師派遣依  
頼について

（古屋社会局長）

昨年に引き続き講師依頼があり、昨年同様、水上卓  
先生（デイサービスいさわ・訪問リハビリテーショ  
ンいさわ）と市川普隆先生（白根徳洲会病院）を推薦  
した。三士会で事前に打ち合わせをして準備をして  
いる。

5. 医療・介護保険部：医療・介護報酬に関する基礎  
的研修会開催報告

（笠井福祉厚生局長）

参加者は 1 回目（10 月 27 日）：6 名、2 回目（10 月 29  
日）：28 名であった。毎年 2 回開催しているが、2  
回開催する必要があるか、また毎年開催する必要が  
あるか検討していく必要があるとの意見があった。

6. 学術研修部：第 3 回学術研修会について

（北山学術局長）

平成 27 年 11 月 1 日（日）に山梨県立中小企業人材開  
発センターで、「神経筋疾患に対する呼吸リハビリ  
テーション～人工呼吸器の基礎から徒手介助併用  
の機械による咳介助まで～」の研修会を開催した。  
参加者は 100 名であった。100 名程度の規模であ  
れば低価格であり使用しやすい場所である。今回 120  
名の参加制限を設け 120 名以上の申し込みがあつた  
ため、締め切り以降の申し込みがあつた数名はお断  
りをした状況の中、当日キャンセルが 20 名程度あ  
り、今後の課題となった。申し込み後にキャンセル  
する場合は事前に連絡してもらうよう案内文に添  
えることで対応していく。

7. 生涯学習部：10 月の事業報告と今後の事業予定

（北山学術局長）

10 月の運営状況は資料にて報告。来年度の事業予定  
は 12 月 16 日に B-2「クリニカルリーズニング（高村  
浩司先生）」、1 月 22 日に B-4「症例報告・発表の仕  
方（村松憲先生）」、A-3「リスクマネジメント（三井  
伸一先生）」を予定しており、新人教育プログラム  
は終了となる。

8. 学術集会部：学術集会準備報告

（北山学術局長）

大会長は山田洋二先生（甲府共立病院）で決定。一般  
演題は 12 演題で関ブロの影響もあり減少している。  
その分、企画としてシンポジウムを予定している。

プログラム等は定期的にホームページに掲載していく。参加登録方法をメールで行うことを検討している。今週末に印刷作業を行う予定。来年度は第20回の記念大会となるため、2日間の開催を予定している。第一候補は1月28・29日、第二候補は12月3・4日となっている。

#### 9. ホームページの掲載内容について

(藤田事務管理局長)

「重要なお知らせ」については事務管理局が投稿権利をもっているため、各部局で掲載してもらいたい内容があれば連絡願いたい。現状は使用されていないため、当面は研修会情報(1週間前)を載せることで活用していく。求人案内について今後、掲載を視野に運営したいとの問題提起がなされたが、将来的に公益社団法人を目指すのであれば広告事業として運営しない方が望ましいとの意見があり、他県士会の状況を情報収集し検討していくこととなる。

### III. その他

#### 1. 会長挨拶

11月8日は協会の組織運営会議および臨時の士会長会議に出席した。組織運営会議ではセラピストの質の向上に向けての取り組みについて教育課程、免許の更新制等の話題が挙がった。また、様々な協会の組織運営に関わる役割分担を今後は各県士会へ委ねる方向で検討していくとの話題が挙がった。臨時の士会長会議では小川先生の参院選についての話題で、個人票が約15万票集まった。士会としては引き続き連盟に協力して進めていく。18日に地域理学療法研修会に参加した。来月は地域包括推進本部会議に出席する予定。

#### 2. 士会費減額について

(小林会長)

アンケートの結果を受けて、いくつかの対策案を資料に記載した。次回の理事会で議題に挙げるので、資料を参考に意見を出して欲しい。

#### 3. 選挙管理規定について

(有泉法人運営担当理事)

選挙規定を修正し、宮下選挙管理委員長に依頼をした。

#### 4. 看護協会の視察研修について

(磯野副会長)

在宅医療チーム形成促進のための視察研修の実施についての案内があった。1月14日、岐阜県小笠原内科を視察する。PT士会から2名参加予定。希望者は連絡を願いたい。

#### 5. 次回の理事会日程について

日時 平成27年12月22日(火) 19:00～

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 12月18日(金)までに審議事項および資料

を事務管理局(藤田)へ提出する。

議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。